

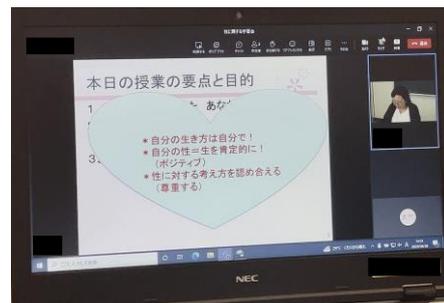
3年生が「いのちの授業」を受けました

今日の午後は、3年生が「いのちの授業」を受けました。講師は柳川市で助産師をされている寺田恵子様でした。ここ数年は毎年、太宰府西中学校にお越しいただき、3年生を対象に講話をしていただいています。

「命」や「性」に関してとても素敵なお話をしていただきました。3年生も講話をしっかりと聴き、心で受けとめ、色々考えることができていました。

自分が生まれてきた奇跡に感謝に、思いやりや感謝の心をもって、これからの生活を過ごしてくれることと思います。

☆ 授業や配信の様子



☆ 生徒の感想

今日は、「いのちの木切り」を聞いて、今まで思っていたより大事なと
感じました。家族から「私が生まれたときみんなうれしかったよ」と
言われたことがあったけど、そこで深く考えていなかったけど「私が生まれたこと
によって変わったことがいっぱいあったと実感しもっとうれしくなりました。

今、健康に生きていくことは普通のこと
ではないのだと改めて知りました。
命ができるまでにとっても大変なことがあり、
生まれてくることは感動してすごいことだ
と思いました。
今まで育ててくれた家族をどうも改めて
感謝し、これからで世話になるので、
自分のできることをしていきたいです。

自分が生まれたことは奇跡ということから
改めてわかりました。また、自分以外の
他の人も大切な人だと思いました。
これからは、性の多様性を大切に
していきたいです。

自分は必要とされていらないなんてことは
絶対になく、自分は自分の親に必
要とされて、生まれてきたんだと思いました。
どんな形であるうと親子というものは、
とても強い絆があり、それは決して、
うばあ本るものでいいのだから
りました。
これからは、いつも、いろいろなことをして
くれる親に感謝の気持ちを持って、
もよく伝えられたらいいなと思いました。
今日の授業で、より、命について、
学べたと思います。